

2018年(平成30年)6月22日(金曜日)

知事提案シンポ断る

三島駅南口 再開発巡り 市長が議会で明かす

三島市のJR三島駅南口東街区の再開発事業をめぐり、豊岡武士市長が川勝平太知事からの市民シンポジウム開催の提案を断っていたことが分かった。豊岡市長が二十一日の市議会一般質問で、佐藤寛文氏(清論会)の質問への答弁で明らかにした。

佐藤氏が、シンポジウム開催を求める知事の提案を断った理由を尋ねると、豊岡市長は「地方自治の原理原則にのっとり、首長の施策は間接民主制のもと議員と議場で議論、審議、適切に議決いただくものと思っ

ている。いろいろ問題があり、開催が適切ではないと判断した」と述べた。

豊岡市長は本紙の取材に対し、五月十四日に県庁を訪れ、川勝知事に東街区の再開発事業の概要を説明した際に、知事から「再開発に反対している人とも仲良くしてほしいので、シンポジウムを開いてはどうか」と提案があり、知事自らも

参加の意向を示したことを明らかにした。これに対し、市長は翌十五日、「反対する人とは私が話をするのでシンポジウムは白紙に戻してほしい」と知事に開催を断ったという。

東街区の再開発事業では、市がマンションが入居する高層ビルや商業施設など四棟を整備する提案をしたミサワホームが代表の共

同企業体(JV)を最優秀提案者を選び、JVと地権者らでつくる準備組合が協定締結に向け協議している。川勝知事は事業に対し

「富士山の玄関口となる三島駅前にマンションは似合わない」と苦言を呈している。

(佐久間博康)